

天地

ネットワーク テーブル 513号

天地シニアネットワーク 2020.11.16

TENTI TODAY			1
会員の広場			2
随想	英会話の楽しみ(11) 時間感覚について(つづき)	伊那 闊歩	2
解説	新型コロナウイルスパンデミック、各国の対応と日本の問題点 (5・完) スウェーデンとギリシャ	佐川 雄一	6
論考	中国人から見た日本人の言語表現理(20) 外来語を使って高級感を出したい心理(1)	兪 彭 年	10
随想	高まる「中国人インバウンド客」の訪日願望	池端千一郎	12
講演会	「新三木会」		13
事務局			14

TENTI TODAY

コロナ禍が厳しくなりましたので、歩くときは別にして、電車に乗る時、買い物に行くときなどは迷惑にならないように、マスクを必ず着用します。先日、優先席に座っていて軽い咳を一度しましたら、隣の中年女性にエアゾール液を噴きかけられました。怒る気にもなれず黙っていましたが、心中穏やかではありませんでした。また、最近では電車に乗ると、換気のために窓が少し開けられていて気になります。これもやむを得ぬことのようにですが、早くもとに戻るように切に祈っています。

われらが市の新型コロナウイルスの感染者、一日に多くても4～5名だったのが、新聞に昨日19名と発表され大ショックです。外出がしにくくなりました。<巣籠りも限界、罹ったらそれまで>と割切る友人もいますが、万一を考えると簡単に同調はできにくい。各地の紅葉情報を見たりすると、<最後のチャンス、奈良へ行こう>などと瞬間思ったりするのですが、思うだけで終わります。ますますストレスがたまります。

不整脈を抱え、長年、循環器専門病院へ通っています。担当の先生とは30年来のお付き合い、気軽に相談できるのですが、最近、泌尿器、呼吸器など他の病が出て、先生に相談すると機嫌が悪い。先生曰く、<80歳も過ぎたら脳梗塞を起こすリスクがますます大きくなる。他の検査、治療などは控えたほうがよい>とのご託宣。ご自分の父親の体験からの忠告のようですが、他方、泌尿器科ではく治療をすれば、長生きできますよ>と言ってくれます。自分で決めると言われるのですが、とりあえず不安をかかえながら、泌尿器科へ通うことにしました。

最近では、テレビでスポーツ番組を見るのが一番の楽しみ、11月一週の日・、日に

行われた東京6大学野球の早慶戦は、最近になく面白く感動しました。ただ、ヒーローの取り上げ方に不満が残りました。テレビ、新聞などでは、土・日と二度逆転ホームランを打った早稲田の蛭間選手が大ヒーローでしたが、二日目の9回表、調子のよい慶応・木澤投手にポンポンと2死をとられ敗色濃厚で、もうダメとみんなが思ったときにレフトに安打した7番バッターの熊田選手(一年生)、も忘れられません。その結果が次の蛭間選手のホームランに繋がり逆転劇が成立しました。これでおしまいと皆が思った時に跳ね返す、大変難しいことです。

●大相撲、地元出身の関脇・隆の勝、前半戦、勝ちの日に懸賞がつかないので不思議に思って同情していました。後半戦、勝ちを続けて、相手にかかった懸賞をもぎとれと思っているのですが勝ちが伸びないようで気の毒です。

会員の広場

英会話の楽しみ(11)

伊那 闊歩

11. 時間感覚について(つづき)

1. [完了形]

英語には完了形という時制があり、現在、過去、未来についてそれぞれ「現在完了、過去完了、未来完了」などがある。これらの表現を用いる場合には、まず時間の基準点を決めておかなければならない。そして、その基準点より以前に起こったイベント(事件)やアクション(行動)が、基準点から眺めて

- (1)すでに完了していて、その結果、基準点においてどうなっているか、
- (2) そのイベントやアクションが繰り返され、継続していたのか、
- (3)それが単なる経験であったのかというようなことを表現することができる、

とされている。

「現在完了」とは、時の基準点が現在であって、過去の出来事や状況がなんらかの形で現在とつながりを持っていることを示し、動詞は [have/has + 過去分詞] の形をとる。「過去完了」とは、時の基準点が過去のある1点にあり、動詞は [had + 過去分詞] の形をとる。同様に「未来完了」とは、時の基準が未来のある1点にあり、動詞は [will have + 過去分詞] の形をとる。

現在完了形として次のような文章について考えてみよう:

I have worked with Sherlock Holmes on more than seventy cases in the last eight years. (シャーロック・ホームズとは、この8年で70件以上の事件にあたってきた。アーサー・コナン・ドイル「まだらの紐」井上久美訳)

ワトソン君がホームズと8年間にわたり70件もの事件を繰り返し継続して解決してきた経験を語っている。完了形であるから、現時点ではこれらのことは完了しているのだ。しかし文法書にあるように、完了、結果、経験、継続などが渾然一体となり、使い方をきっちり区別できるものでもないのだ。

現在完了形を使うばあい、「時」にかんする副詞の使い方に注意が必要だ。現在完了形の中に、はっきり過去の日になどを入れてはいけない。しかし、ぼんやりした「時」の副詞、before, recently, lately, ever, yet, already, …などは入ってよいとき

れる。たとえば

Have you ever seen UFO's? (UFO を見たことありますか)

ぼんやりしていても then や when を現在完了文の中にいれてはいけない。上掲シャーロック・ホームズの文章の中での in the last eight years.は8年前から現在に繋がっている時のながれを述べているので、なにも問題はない、というわけだ。

次の文章は19世紀オランダの画家ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ(1853-1890)の言葉である。現在にいたるまで継続している習慣を述べている:

The fishermen know that the sea is dangerous and the storm terrible, but they have never found these dangers sufficient reason for remaining ashore.
(漁師たちは海の危険性、嵐の恐ろしさを知りつくしている。しかし彼らはこれらの危険性が陸(おか)にとどまる十分な理由になるとは決して考えない)

過去完了は次のような時の経過を表現するためにつかわれる:

I didn't know what company she had worked for. (彼女が[それまで]どのような会社で働いていたのか知らなかった)

次の文章は基準点が2010年なのでそれ以前のことは過去完了になる(*1)。

He had lived in Canada for five years before moving to Japan in 2010.

次の文章は未来完了についての例文である:

Ten years from now Japan's practice of depending on *hanko* seals will have been greatly improved. (10年後日本のハンコに頼る習慣は大幅に改善されることであろう)

(*1) 次は、新渡戸稲造(1862-1933)の「武士道」のなかの文章である:

What Christianity has done in Europe toward rousing compassion in the midst of belligerent horrors, love of music and letters had done in Japan.

(戦いの恐怖の真ただ中における他者への哀れみの心をもたらしたのは、ヨーロッパではキリスト教であったが、日本においては音楽や書に対するたしなみであった。

[樋口健一郎、国分舞訳]

(Rouse:起こす、刺激する、compassion:あわれみ、同情、belligerent:敵意のこもった。)

ヨーロッパの戦中でのキリスト教のあわれみの行為以前に、日本にはすでに芸術へのたしなみがあったことを現在完了形と過去完了形を使い分けて述べている。Nitobe Inazo の並々ならぬ高い教養と英語力がうかがわれる名文である

2.[完了形へのこだわり]

以上英語の完了形について見てきたが、しかしここでひとつ素朴な疑問が生ずる。英語ではなぜことさら完了形にこだわるのであろうかということである。さらに完了形があるならなぜ「未完了形」がないのであろうか、ということである。

じつはラテン語を起源とする言語つまりフランス語、イタリア語、スペイン語… などにはこの未完了形があり、それは「半過去形」と呼ばれ日常会話で頻繁に使われているのだ。

ちなみにフランス人は過去から現在につづく状態や出来事をこの半過去形か「複合過去形」(英語の過去形および現在完了形に相当)を使って表現する。「単純過去形」(英語の過去形に相当)はもっぱら文書だけにおいて使われ、会話では使わな

いそうである(複合過去形で単純過去を言い表すことができる)。

半過去形は「～していた」「～であった」「～したものだった」という状況表現するのだが、それが現時点で終了しているとは言っていないのである。つまり、現時点で未完了なのである。完了形ならば現時点でそれらのことは終了しているはずだ。

ラテン語やフランス語は状況によって動詞が目まぐるしく変化する。ラテン語は一つの動詞の変化形がなんと 140 もあるという(*2)。フランス語ではたとえば aimer[愛する] の変化形が 108(正確ではないが 100 よりも多い)あるのだそうだ。

言語を絵画にたとえるとすると、古代ローマ人やフランス人は、豊富な絵の具のコレクションを持っている。英語は絵の具のコレクションはすくないが、色をまぜてフランス語と同じ色彩を出す。

それが和色(日本語)となるとどうだろう。茜色(アカネイロ)、朱鷺色(トキイロ)、勿忘草色(ワスレナグサイロ)など微妙な色合いを洋色のカラーコードで処理できるものであろうか。

幸い英語は動詞の変化が少なくて助かる。しかし、単語の組み合わせがたいへんなのだ。

(*2) 小林 標「ラテン語の世界」(中公新書)

3.[進行形]

進行形とは「限られた期間内の状態や行動の継続」を示すために用いられる動詞のひとつの相(アスペクト、aspect、*3)で、それは be + 現在分詞(現在分詞 = 原型 + ing)によって表現される。たとえば

The flowers are blooming nicely this year, aren't they? (現在進行形)
(今年は花が美しく咲いているね)

The land is being cleared of trees and weeds. (現在進行、受動形)
(その土地は樹木や雑草が刈り取られてきれいになっている)

They were watching for further development. (過去進行形)
(彼らは更なる進展を注視しつづけた)

Will you be going out this evening? (未来進行形)
(今晚でかけるのですか)

I've been reading books on economics recently. (現在完了進行形)
(最近ずっと経済学の本を読んでいた)

I didn't know how long she had been staying there. (過去完了進行形)
(彼女がそこにどれほど長く滞在していたのか知らなかった)

などなど頻繁に進行形が使われ、次の文章：

It was early in April of 1883 when I found Sherlock Holmes standing next to my bed waiting for me to wake up.

(あれは 1883 年 4 月初旬のこと、枕もとでシャーロック・ホームズが立って私が起きのを待っているのに気がついた[まだらの紐])

のように ing 形をつかって文章をつないでいく例を多く見かける。次の例：

I am looking forward to seeing you again.

(またお目にかかることを楽しみにしています)

は現在進行形であるが、to 以下はこの場合名詞を採るので see を動名詞にかえて seeing とすることに 注意！

進行形の中でもとくに重要なのが [be going to] ではあるまいか。会話のなかでじつに頻繁に使われるのだ。たとえば、映画「ローマの休日」の中でカメラマンのアーヴィングが新聞記者ジョーに呼び出され、アーヴィングはジョーのそばにいるアン王女を見てこう言うのだ：

Aren't you going to introduce me? (紹介してくれないの?)

つまり、[be going to] をつかうだけで会話が生きいきしてくるのだ。[be going to + 不定詞] は [～するつもり] (あらかじめ考えていた意図) を表現するためにたとえば

We are going to get a new car soon. (新車を買うつもりだ) とか

I'm going to sell this television set and buy a new one.

(このテレビを売って新しいのを買うつもりだ)

また[～しそうだ] (近い未来の予想) という意味で

The sky is clouded over; I'm afraid it's going to rain.

(空が曇ってきた; 雨がふりだしそうで心配だ)

などとして使う。

通常、未来の出来事や行動を表現するために助動詞 will を用いる。一方、be going to も未来を表現するために使う。ではその違いはなにか。その差はほとんどない場合も多いが、[be going to] は 近接未来つまり「近い未来の予想」を言い表したいときに使われる。たとえば、

He is going to go to the Moon. (かれはもうすぐ月に行くだろう)

たとえば、すでに月探査ロケットの準備が整って打ち上げが迫っているような場面での表現であるが、一方

He will go to the Moon. (そのうちにかれは月に行くだろう)

では、探査機が組み立て段階にあってまだ完成していないが、完成段階でいずれかれは月に向かうであろう、と言っている。つまり、[be going to] は近接未来、[will] は単純未来の場面だと使いわけされるのだ(*4)。

(*3) 文法書は完了形や進行形は「時制」の1種として扱っているが、ここでは山崎紀美子「英文法の核心」(ちくま新書)にしたがって、これらは動詞の「相、アスペクト」と理解することにする。

(*4) be going to go というのは米国人が好む言い方らしい。筆者も米国で gonna go というのを時々聞いた。I am going to shibuya. と I am going to go to shibuya. との差はほとんどないとのことであるが、文の構造はたいへん異なる。前者は進行形であるが後者は am going to があたかも助動詞(gonna?) のような役割をはたしている。しいて(渋谷に行く) 確実度の差をつけるとすれば、I will go to shibuya. → I am going to shibuya. → I am going to go to shibuya. のように確実度があがるらしい。しかしこれも状況による。

2020年7月5日

新型コロナウイルスパンデミック 各国の対応と日本の問題点(5・完)

佐川雄一

7 各国の COVID-19 対策について

- 1. 米国(511号掲載)
- 2. ドイツ(511号掲載)
- 3. 英国(512号掲載)
- 4. ベトナム(512号掲載)
- 5. ニュージーランド(512号掲載)

6. スウェーデンとギリシャ

欧州で最も先進的な保健福祉制度と医療インフラを備えるスウェーデンと2008年リーマン・ブラザースの経営破綻に始まった世界金融危機に直撃され筆舌に尽くしがたい苦難の歳月を過ごすことになったギリシャをなぜ同列に扱うのか不思議に思われるかもしれない。確かに健全な財政基盤が築かれている国は概ねコロナ対策も上手く処理している。反面、厳しい財政に直面している国はその逆。この評価は多くの国に当てはまるが、スウェーデンとギリシャはこの範疇から外れるので特記することにした。スウェーデン(10.0百万人)とギリシャ(10.4百万人)はほぼ同じ人口を持ち、地理的には欧州に位置する国である。

スウェーデン

スウェーデン政府と医療専門家は新型コロナウイルスが市民に感染し始めれば数か月の間に多数の市民に集団免疫が整うと期待していた。そうなれば次のパンデミック(第2波の襲来)が起きても、感染者は大幅に減少すると目論んだのである。そのように考えて都市封鎖を実施しなかった数少ない国である。

参考までにスウェーデン(10.0百万人)とギリシャ(10.4百万人)の感染者数・死亡数をくらべてみよう。(6月9日現在)

	感染者数	死亡者数	感染者数/100万人	死亡者数/100万人
スウェーデン	45,133	4,694	4,471	465
ギリシャ	3,049	182	292	17

常識的に判断すれば、先進的な福祉制度と勝れた医療インフラを持つスウェーデンが優位に立つはずであるが、これまでの感染者数・死亡者数から判断する限りスウェーデンの100万人あたりの死亡者はギリシャとくらべ遥かに高い。なぜ立場が逆転したのだろうか。

スウェーデン政府は、戦略を定め、明確な目標を持って新型コロナウイルス対策に挑んだが、残念ながら、正しく機動しなかったようである。ストックホルム市の集団免

疫率は予期したより遥かに低い 7.1%に過ぎなかった(New York Times、5 月 30-31 日)。集団免疫は、国民の 60 - 70%に抗体ができることが前提になるので、スウェーデン政府の目論見は外れたのである。

医療インフラが勝れているが故に他国と異なる戦略を採ったのかもしれないが、集団免疫の予測は明らかに間違った。それと同国には老人介護施設が多く、老人の多くは施設で老後を過ごす習わしになっているが施設はパンデミックの間も外部に完全に解放され、家族は自由に施設を訪問することができた。

政府は施設で働くヘルスケア職員が感染の危機を克服してくれるものと期待したが、多数の老人が感染・死亡するという予期せぬ事態に見舞われた。当初描いた国家戦略が正しかったのか/間違っていたのか、政府関係者・専門家間で意見が割れている。

スウェーデンは、ユニークな国である。国民の 24%が外国系。人口当たりの起業家率はシリコンバレーの次にストックホルムがくる。大企業の女性役員率 39%、閣僚の女性比率 50%、スウェーデンの「言論の自由法(1776 年)」は世界最古、人口 1,000 万人の国に世界規模の企業(Ikea, Astra Zeneca, H & M, Tetra Pak, ABB, Volvo, Ericsson, Scania etc.)がいくつもある。そして国民の政府に対する信認は高く、ムーディーズ、S&P の格付けはいずれもトリプル A (Aaa, AAA)である。

スウェーデン政府は、第一級の医療インフラの整備を背景に他国と異なる戦略を採ったのかもしれないが、集団免疫の予測と老人介護施設の安全・保護については甘さがあった。

未知のウイルスが人間社会でどのような動きをするのか、現時点では科学者でも確かな回答を出すことができない。勝れた科学者が知恵を絞って戦略を立てたのであろうが、未知のウイルスの猛威と人間社会へのインパクトを計測することができなかったのである。当然のことながら、第 2 波、第 3 波に対しては異なる戦略で臨むものとする。

参考資料:

Very serious situation for the global economy and the Swedish economy by Ministry of Finance (March 31)

ギリシャ

ギリシャは、2008 年の財政危機に直面、その救済策として IMF, EU(ドイツ他)から多額の資金援助を得て、抜本的な構造改革に挑んでいるが、財政支援と引き換えに厳しい条件が課せられた。

歳出を削減するために、政府は経済の自由化・規制緩和・民営化を積極的に推進した。国民生活に密接する政府支出 - - - 年金、老人医療を含む医療費予算(50%削減)、病院関連コスト(40%削減)、医師を含む専門職の年金、等、--- が大幅に削減された。

さらにその煽りを受けて医療施設・クリニックの多くが廃業となった。有能な人材の海外流失も後を絶たない。残念ながら医療インフラの整備・改善は放置されてしまったのである。幅広いセクターで財政削減策を実行した結果、ギリシャの GDP は 20% 落ち込んだ。

新型コロナウイルスのニュースが入ると、多くの市民は、最悪の事態に陥ると恐れおののいた。そして人口 10.4 百万人の三分の一が首都（アテネ）と郊外に居住、人口過密、交通手段を大量都市輸送（地下鉄他）に依存するアテネ、そして人口に占める高齢者率はイタリアに次いで高いギリシャは、欧州の中で新型コロナウイルスに最も影響を受けやすい国と評価された。

只、国家が苦境に陥った時、何かが起こる。国家の再生に向けた舵取りをする時代のニーズにあったリーダーが現れた。現在の首相：52 歳のキリアコス・ミツォタキス（2019 年 7 月～）は米国（スタンフォード大学、ハーバードビジネススクール）で教育を受け、長い間国際金融業界で勤務経験を持つ異色の人物である。

大衆の懸念、国外の冷淡なまなざしを前にしてミツォタキス首相は大胆な政策：『現在の医療インフラでは患者の治療・救助に応えることはできない、集中治療室を直ちに 70%増設する。医療従事者も足りない、3,500 人を追加で雇用する。

しかし、財源は寄付に頼る』と発表。幸いなことに船舶王で有名なオナシスが残したオナシス財団、他に多額の資金を持つ財団がいくつかあった。それらの財団に寄付を仰いだ、企業にも幅広く寄付を募った。一般の市民にも支援を要請した。約束通り、集中治療室の増床と医療従事者の増員が確保できた。政治家の家系を持つことも幸いして首相のコミットメントは無事履行されたのである。

さらに新型ウイルスについて十分な知識を持たない市民のために著名な病原学者を広報担当に任命、連日、感染者の状況、ウイルスの実態、患者の症状、市民の守るべき事項等について報告、併せ市民との対話（Q&A）を行った。

政府が市民の前で常に繰り返した約束は、持てる情報の全面開示、政治家・専門家の声が透明性を保つことであった。市民の政府に対する信頼は高まり、専門家によるテレビ番組は、市民にとって必見の番組になり、視聴率は急上昇した。

専門家は、“自宅待機”を使わず“安全を維持する手段”とするなど言葉の選択にも注意を払った。併せ市民には厳しい行動規制を課した。3 月 1 日、学校、バー、レストラン、図書館、博物館等を閉鎖、市民は犬の散歩であっても当局の事前許可を義務付けた。そして違反者には罰則を科した。

政府のコミットメント（集中治療室の増設、他）が遅滞なく履行される動きを目の当たりにした市民は政府の要求を快く受け入れた。ギリシャ教会も全面的な協力を惜しまず、教会のセレモニーは一切控えた。迅速果敢な政策案の公表と即実行、透明性と情報開示に努める政府の態度は市民から高い信頼を受け、都市封鎖も他国より早く実行できた。お蔭で感染者数・死者数を最小限に抑えられた。これらの一連の措置を通して国民がギリシャに誇りを持つようになった。

因みにギリシャの人口比の死者数はドイツの 1/7 である。ギリシャが財政危機に直面した時、ドイツは多額の援助をギリシャに行ったが、今回はドイツがギリシャから学ぶことになった。象徴的なイベントである。

TIME 誌は新型コロナウイルス対策の成功モデルのひとつにギリシャを選んだ。ギリシャの国民は長年に亘る緊縮財政で苦しい生活を強いられ、欧州の問題児とレッテルを貼られ、屈辱に耐えてきたが、コロナ対策が功を奏して国民の間に愛国心が芽生え始めている。新型コロナウイルス対策がもたらした国民意識の変化、これは日本にとっても参考になるのではないだろうか。

参考資料：

Why is Greece an outlier in EU's Covid-19 response? By Marianthi N. Hatzigeorgiou (May 19), How Greece can reopen without ruining its coronavirus containment success by William I. Antholis (June 2), Greece has “defied the odds” in the Pandemic by Iliana Magra (April 28)

終わりに

現在、米国、英国、EU、中国で多くの企業・研究機関が新型コロナウイルスのワクチン開発に注力しているが、大量生産が始まるのは、早くて年末或いは 2021 年になるとの見方が大勢である。Japan Times (June 26) によれば、『現在、142 のグループが開発に取り組んでいるが、臨床試験の段階にあるのは 13 グループ、その中で先陣を切っているのが、アストラゼニカ（英・スウェーデン）とモデルナ（米）である。

なぜ ワクチンの開発を急ぐのか。「新型コロナウイルスの感染防止と重症患者の発生を防ぐ」ことである。』ワクチン開発の特徴は幅広い国際協力がベースになる。中国については情報がなく定かではないが、新たなウイルスに対するワクチンの開発は一国ではとても対応できない、国際協力は必須である。

一例を挙げる。アストラゼニカ（オクスフォード大学他と提携）は、2 億個のワクチンを年内・年初に発売する予定であるが、現在ブラジル全土の病院で 6 月から患者に投与されワクチンの効能を分析・調査中である。

なぜ ブラジルが選ばれたのだろうか。ブラジルにはアストラゼニカの工場があり、ここでワクチンが生産されるメリットがあるが、もっと重要なことがある。ワクチンの投与は、あらゆる皮膚の人、あらゆる背景を持つ人種を対象にしなければならない。そしてそれなりの人口を持つ国となると候補先は米国（330 百万人）、ブラジル（210 百万人）になる。

アストラゼニカはブラジル政府の許可を得てブラジルをワクチンの効能を測定する場所を選んだ。生産されるワクチン 2 億個の内、半分は途上国に向けられる、ブラジルには一定量が配布される、国際協力という旗印はあるがいずれの国も反対給付を求める姿が浮き彫りになる。他方、モデルナ（ハーバード大学と提携）は米国で 3 万人を対象に 7 月から分析・調査を行う予定である。アストラゼニカ、モデルナの他にファイザー、ジョンソンエンドジョンソン、中国メーカー等がワクチンの開発中、どこが商業生産に一番乗りするのか世界は関心を持って見守っている。

世界の国々が英知を結集して取り組むコロナ対策で明らかになったことは、①集中治療室（ICU）、② 医師・技術者・看護師、その増員と訓練、③ 心肺呼吸器、換気装置、防護服、マスク等の医療設備、防護資材が恒常的に不足する現実であった。

日本では重症患者が入院先を断られる悲しいニュースがメディアで頻繁に報じられた。ICU について、ドイツは 40,000 床を確保、ニュージーランド政府は、「患者の生命第一」を掲げ国民の信任を得たが、日本政府・専門家の発言は、説明責任・透明性が欠落していた。「感染症対策では情報を収集、分析、調査し適切に迅速にわかりやすく伝える倫理観が国に問われる。何か隠されていると国民に思われる態度を政治は採るべきでない」（日経新聞、6 月 1 日）。「歴史の教えに従えば、現実的なコロナ予防策は信頼に足る科学情報の共有とグローバルな結束である」（TIME、March 30）。

最後になるが、新型コロナウイルス対策の成功モデルはその大半が健全な財政を維持している国であるが、2008年の世界金融危機の煽りを受けて財政危機に落ち込んだギリシャが成功モデルのひとつに名を連ねている。他山の石となるのではないか。

まとめとしてもう一度申し述べたい。新型コロナウイルス対策の成否を握る鍵は、① 政治・科学の協働、② 医療インフラの整備、③ 過去の経験に学ぶ、④ 国民への事実の開示であると考える。

完

中国人から見た日本人の言語表現心理(20)

愈 彭年

言語表現心理(四)

外来語を使って高級感を出したい心理(1)

外来語はこれまで日本になかった新しいものや概念などを示す語彙として使われている。従って外来語を使うと外国文明を受け入れていることが表され、高級感や舶来感などが出てくると思われるらしい。

2003年10月29日の『朝日新聞』の「声」に「<政権公約>となぜ言わない」という投稿があった。ニュース番組で「政権公約、すなわちマニフェスト……」というのを聞いて、「政権公約というちゃんとした日本語があるのに、なぜわざわざ外国の言葉をそのまま受け入れなければならないのだろう」と疑問を発し、不満を示していた。そして、「こうして我々は日本語を捨てていくのかもしれない」と結んでいた。

新聞でも外来語とその意味を表す日本語がカッコ付きで並列に書かれていることがよく目に付く。たとえば「日本とサウアー(陰悪)な関係」「経済のファンダメンタルズ(基礎的条件)を反映しているなら……」「エコロジカル・フットプリント(生態系の足跡)」「アナクロ(時代錯誤)」「オーラルヒストリー(口述歴史資料)」「インフォームド・コンセント(十分な説明と同意)」「スキーム(枠組み)」「リスクヘッジ(危機回避)」「ホームベーカリー(家庭用製パン機)」「ダブルスタンダード(二重基準)」「モラルハザード(倫理の荒廃)」「サプリメント(健康補助食品)」「ジェノサイド(集団虐殺)」「アパートヘイト(人種隔離)」などは新聞から無造作に拾った例だ。

中国人の感じではひとつにしてしまえばよいのに、なぜこのような非効率な表現にするのか。根本はやはり外来語を使いたいのだろう。いま日本語に外来語が氾濫している。化粧品の名称に外来語を使うのはもう100%に近い。医薬品もほとんど外来語だ。「サニー」「プリメーラ」「セドリック」「ストリーム」「アコード」「フィット」「アクセラ」「スピアーノ」「プレマシー」などなど乗用車の名称で外来語を使っていないのはないだろう。

散歩がてらに新造の住宅団地の家々の表札を見てびっくりしたことがある。半数以上の表札は漢字でなくローマ字で表記されているのだ。例えば「YAMAMOTO」「WATANABE」「URAKAWA」などのようにローマ字綴りだ。漢字とローマ字で表記し

たものもあった。欧米人の来客に気を遣ってわざわざローマ字表記にしたとも思えず、これは多分ローマ字綴りにすれば外来語化したという心理が働いているのではないだろうか。

昔、日本は中国文化にあこがれ、中国文化を受け入れた。遣隋使や遣唐使などの派遣による国家間の交流、留学僧や渡来人・帰化人などによる民間交流は日本文化の発展に大きく貢献した。結果として漢字と漢語語彙が日本語に溶け込んだ。

当時漢語語彙は和語語彙にとってまさしく外来語であり、先進文明を反映した言葉として高級感や新鮮感や舶来感に富んでいたに違いない。

19世紀後半になると、日本は西洋文明にあこがれて、熱心に西洋文明を摂取した。西洋文化の摂取で突出したことは漢語の造語力にもとづいてたくさんの新しい漢語語彙「翻訳漢語」を作ったことだ。この「翻訳漢語」は中国に輸入されて、中国の西洋文化の摂取に大きく寄与し、言語における中日文化相互交流のよき例となっている。

「自然」「社会」「経済」「政治」「政府」「民族」「哲学」「物理」「法律」「産業」「金融」「企業」「銀行」「証券」「信託」「不動産」「営業」「保険」「交通」「鉄道」「電車」「道路」「電話」「電報」「電気」「電流」「通信」「議会」「行政」「選挙」「投票」「施政」「官吏」「公務員」「機関」「幹部」「学校」「衛生」「運動」「体育」「体操」「競技」「球場」「選手」「恋愛」などなどはみな「翻訳漢語」であり、中国では発音が違うだけで、ほとんど同じ意味で使われている。

では、あの時代はなぜ「翻訳漢語」にして、現在のようにカタカナ外来語にしなかったのでしょうか。ひとつに中国の影響があったのではないかと思われる。それは西洋文化の接触では中国のほうが日本より先であり、明末清初(16~18世紀)に「**西学東漸**」「**東学西漸**」という中西文化交流があった。

その中で中国にやってきたマテオ・リッチ(中国名:**利瑪竇**)、アダム・シャル(中国名:**湯若望**)、フェル・ビースト(中国名:**南懷仁**)、ケーグラウ(中国名:**戴進賢**)などの宣教師たち、それに宣教師たちと一緒に仕事をした**徐光啓**のような中国人たちが西洋文明を中国に紹介するために先に「翻訳漢語」をつくった。

たとえば「天主」「天主教」「耶蘇」「耶蘇会」「基督」「聖水」「洗礼」「福音」「幾何」「代数」「対数」「数学」などだ。これを輸入した日本はまだ「漢語崇拜」であったため中国の真似をしてたくさんの「翻訳漢語」をつくったのではないか。

中国文明の衰退によって、日本では「漢語崇拜」がなくなり、代わりに欧米文明にあこがれての「欧米語崇拜」になった。したがって意味をもとにした「翻訳漢語」はつくられなくなり、逆に音声をもとにしたカタカナ外来語がつけられるようになった。

その語彙数はすごい勢いで増え続けてきた。「デザイン」「ライフスタイル」「コメント」「シンポジウム」「センス」「レベル」「コンサート」などのような使用期間が長いものは、すでに和語や漢語の語彙と同じように使われてなんら違和感を与えない。外来語は今や和語や漢語と並んで日本語語彙の三大構成要素となり、辞書も「国語辞典」、「漢和辞典」、「カタカナ語辞典(外来語辞典)」の3種類となっている。

このため欧米語、特に英語を知らないものにとっては読解やコミュニケーションに影響を来すほどになってきた。省庁の文書にはカタカナ外来語を抑制する意見が出され、国立国語研究所は2003年の4月と11月に外来語のわかりやすい言い換え

最終案を発表し、第一回で62語、第二回で47語を提案した。2004年に第三回の33語の中間案を発表した。8月末に最終案をまとめて、第4回を一区切りにする予定という。

たとえば「アーカイブ」を「保存記録・記録保存館」、「イノベーション」を「技術革新」、「コミュニティ」を「地域社会・共同体」、「バーチャル」を「仮想」、「ベンチャー」を「新興企業」、「ワークショップ」を「研究集会」、「ドクトリン」を「原則」、「マンパワー」を「人的資源」、「リテラシー」を「読み書き能力・活用能力」、「ボトルネック」を「支障」、「パブリックインボルブメント」を「住民参画」などと言い換える案だ。これは明治期にはやった「翻訳漢語」の再来をはかろうとすることだ。しかし、外来語に深いかわりを持つ人々からの反発もあって、外来語の「氾濫の勢い」を阻止するのはなかなか難しいようだ。

高まる「中国人インバウンド客」の訪日願望

池端 千一郎

コロナパンデミックのせいで、海外からの訪日外客数いわゆるインバウンド客が激減してすでに10ヶ月近くが経つ。我が国の観光関連産業や旅行業界にとって、その影響やダメージは想像以上に大きいようだ。

参考までに政府の観光データでインバウンド客数の推移を見てみよう。海外から日本へのインバウンド客は2001年の470万人が2010年には860万人まで増加したが、2011年の東日本大震災で一旦622万人まで落ち込んだ。しかし翌2012年末には民主党の野田政権に代わって自民党の安倍政権が誕生し、大胆な金融緩和政策の実施で円安化が急速に進んだことや、観光立国に向けての積極的な取り組み等によって、2012年には早くも836万人にまで回復した。

その後もインバウンド客は順調に増え続け、2013年には1036万人と初めて1000万人の大台を突破、2015年には早くもほぼ2000万人を実現し、4年後の2019年には3188万人にまで増加した。しかし2020年に入るや、中国発のコロナパンデミックの影響で世界的に旅行客数が激減、訪日外客数も1～8月の8ヶ月間で396万人まで激減した。

2012年以降の我が国へのインバウンド客の増加のうち、とりわけ増加が顕著なのは中国からの訪日客数だ。2009年には100万人をわずかに超える程度だったが、10年後の2019年には訪日外客数のほぼ3分の1を占める年間959万人にまで急増した。

ちなみに中国において、日本はタイと並んで海外旅行先としてもっとも人気のある国だが、その背景には日本人は総じて親切で正直とか、治安が良くて安全とか、鉄道など公共交通機関の時間が正確とか、街や道がおそろしく清潔といった民度の高い社会が理由となっているようだ。しかも一度でも日本を訪れた中国人は、その多くがリピーターとなってその後何度も訪れるようになるという。

2020年の3月以来、そんな日本フリークな彼らがコロナ惨禍のせいで日本に行けない状態が続いており、一種の欲求不満になっているという。共産党による一党独裁の故に自由や人権を抑圧・制限しやすい中国は、既にコロナ禍を世界に先駆けて克服し、経済も回復基調にあるため、旅行好きは中国国内旅行だけでは最早満足できないらしい。

というわけで、今後我が国においてコロナ禍が収束し、中国本土からの観光客の受け入れ制限が解除された暁には、それこそ怒濤のような勢いで中国からインバウンド客が押し寄せる可能性は十分にある。

ありがたいような、でもちょっと迷惑なような、なんとも微妙な感じだ。インバウンド客の増加ペースは早すぎても遅すぎてもよろしくない。ほどほどのペースで着実に回復するのが一番良いし、特定の国からの訪問客だけが急増しないのが望ましい。だが、現実はなかなかそうも行かないのだろう。

文化講座・講演会

新三木会

- (1) 日時、場所 11月19日(木)13:00～15:00 如水会館2階 スターホール
- (2) 演題、講師 『現代民主政について考える』
佐々木 毅氏 東京大学名誉教授、第27代東京大学総長
- (3) 申込み A 会場参加: 会費(受付払)2千円, 婦人千円、学生無料,
(茶話会は当分、諸般の事情により休止といたします)
B 通信受講: 外出を避けられる方 11月末迄にメールで送信
録音記録・講義録・参考資料等一式を千円にて送信。
申込方式の変更 次のURLをクリック戴き、必要項目を記入し送信下さい。
<https://forms.gle/wXc3pTEPdy4vuetj6>
- (4) その他新三木会ホームページ
<https://jfn.josuikai.net/circle/shinsanmokuikai/>

今後の予定

- (5) 第12回特別講話会 12月1日(11:50～15:00) 昼食有 スターホール
『日米インテリジェンス—田中角栄・新大統領』
講師 春名幹男氏 国際政治評論家 元共同通信社論説委員
昼食込み会費 3千円
- (6) 第120回講演会 12月17日(木) 13:00—15:00 スターホール
『米国大統領選挙後の国際情勢を展望する』
講師: 孫崎 享氏 外交評論家 元外務省国際情報局長
申し込みは11月末ご案内後に願います。
- (7) 新三木会々報 11-1 (第25報) 音楽「イエスは我が喜び」
I. バッハを訪ねる旅 2. F1と海野勝君 3. ワクチンのメディア情報

申し込み 新三木会代表幹事 則松久夫
(Email) shinsanmokukai@gmail.com

事務局

<投稿>を歓迎します。

<プリント版・郵送>

メール版を編集してプリント版を月に1回発行し郵送しています。

お申込み頂ければお送りします。一応、実費として月@350円(4200円/年)をいただいておりますが、強制するものではありません。

<振込先>三井住友銀行「神田支店」(普通)7871532

(口座名)テンチシニアネットワーク

天地シニアネットワーク・テーブル・513号

発行:2020年11月16日

天地シニアネットワーク事務局 (津田 孚人)

〒116-0001 荒川区町屋3-2-

1

ライオンズプラザ町屋703

メールアドレス: tentisenior06@gmail.com

電話・FAX・03-3819-7651